

国際専門要員を養成

県、AMDAと提携

AMDA(岡山市)が哲多町に今年9月に開校する国際貢献大学校を活用し、県が国際専門要員の養成事業に乗り出す。今秋、NGOのリーダーや国際協力機関での勤務を目指す人を全国から募集して、3泊4日の日程で研修を開催する計画。AMDAとのタイアップ事業で、同大学校を公的機関が利用するのは初のケースになるとい

う。

同大学校は国際協力に向けた人材育成を目指し、AMDAが哲多町の協力を得て、昨年度で休校になった町立大田小学校の校舎を使って設立する。県は県内にあるNGOとの連携を通じ、「国際貢献先進県」への「を目標として掲

9月開校 国際貢献大学校を活用

げており今回の事業もその一環。

計画では、約30人の参加を予定。「国際ボランティアの理論」「人材育成と組織マネジメント」などをテーマにカリキュラムを編成し、講師はAMDAが人選する。

全体の事業費は160万円。受講料は無料だが、哲多町までの旅費や校舎内の宿泊施設での宿泊料などは自己負担となる。今後、カリキュラムの具体的な内容や募集要項を決めていく。

県はさらに、県内の国際貢献NGOの相互支援や提携を促進し、ネットワークを図る予定。県国際課は「国際貢献大学校で学んだ人が全国で活躍することを通じ、岡山のイメージアップを図っていきたい」と話している。